

## 生活バス路線「湯ノ沢線」「板見内線」が廃止になります

9月末に廃止になった「高畑荒川線」に続いてこれまで千畑地区を運行していた「湯ノ沢線」と「板見内線」が平成20年3月末日をもって廃止になります。

町ではバス路線を維持するため、毎年バス事業者に対して赤字部分についての補助金を交付しています。平成18年度の3路線の補助金交付額は967万円でした。

また、住民の生活に密着した公共交通として非常に大切な路線であることから、3路線ともに運行の継続を要望してまいりました。

しかしながら、マイカー等の普及によりバス利用者の減少が続き3路線のバス運行の事業赤字が増大し、これ以上の運行は無理ということで羽後交通(株)が廃止を決めたものです。



### ■町では存続を要望

町では、昨年1月に羽後交通(株)を訪問し、町補助金の増額などを提案し、存続を要望しております。また、地域公共交通会議においても存続のお願いをするなどさまざまな要望活動を実施してきましたが、残念ながら「高畑荒川線」については広報でもお知らせしたとおり、9月末で廃止され、羽後交通(株)では「湯ノ沢線」「板見内線」についても平成20年3月末で廃止をすることで運輸局に届出をしているとのことでした。

### ■代替交通を含む地域内交通を検討中

町では、こうした動きを踏まえてバス路線廃止地区の代替交通を含めた地域内交流促進のための交通手段確保について、そのあり方を検討しているところで、年内の方針をまとめたいと考えています。

皆様には、こうした事情並びに状況にご理解いただきますようお願いいたします。

## 皆さんの声を広報に生かしていきます

広報美郷  
アンケート  
から

町では、町内全戸に対して広報6月号にアンケートを折り込み、そのうち108人の方々から回答いただきました。調査結果がまとまりましたので抜粋しご報告します。

調査にご回答いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

- ・回答者のうち、90%の人が広報美郷を「毎号読んでいます」とし、読まれた方の15%が非常に読みやすい、67%の人が読みやすいと感じていただいております。

「読みにくかった」と回答されたのは8%の方で、理由として「情報量が多い」「内容が難しい」という回答が多くを占めました。

- ・今後の「広報美郷」の在り方については、半数の50%の方が「現状を維持する」との結果でした。また「現在よりも充実する」と回答した方も32%となっておりその理由として「興味・関心の高い特集を増やす」「町民の声や活動を紹介する紙面を増やす」という回答が多くありました。

◇ 対象 町内全戸

※町広報紙(6月号)への折り込みにより実施

◇ 回収枚数 108枚(回収率1.7%)

### その他の意見

- ・活字がもう少し大きければよいと思うときがある。
- ・子どもから年寄りまで読んでいると思うので、読み慣れない字にふりがなをつけてほしい。
- ・広報なので町内の情報に限ることはもちろんですが、投書コーナー的なものがほしい。

### <広報担当より>

この他にもたくさんのご意見ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、読みやすく親しみやすい広報紙を目指し努力してまいりますので、今後とも広報美郷をご愛読いただきますようお願いいたします。

# 議会臨時会 町臨時会

## 豪雨被害の復旧関連 予算などを可決

平成十九年第七回町議会臨時会  
が十月十八日に開かれました。

今回の臨時会では、町道大荒  
田・高田線道路改良舗装工事に係  
る工事請負契約の一部変更のほか、「政治倫理の確立  
のための美郷町長の資産等の公開に関する条例」、  
「美郷町アクティビティセンターの設置及び管理に関する条例」  
の一部改正、平成十九年度美郷町一般会計補正予  
算第五号について審議が行われ、いずれも原案どお  
り可決されました。

このうち一般会計補正予算においては、九月の豪  
雨被害により損傷した町道や河川などの復旧に係る  
工事請負費(計三百四十万円)のほか、損壊した水防  
倉庫の解体撤去および同倉庫の機能を旧六郷給食セ  
ンターに移すことに係る工事請負費(計六百二十五万  
四千元)など、歳入歳出それぞれ千七百七千円を追  
加し、補正後の予算総額を百十四億千三百六十四万  
四千元としました。

## 人権擁護委員が再任されました



東海林鉄郎さん

十月一日付けで、東海  
林鉄郎さん(石神)が法務  
大臣の委嘱を受けまし  
た。

いじめや家庭内でのも  
めごと、近隣とのトラブ  
ルなど身近なことでお困りのことがありましたら、  
お気軽にご相談ください。

# 風



10月3日、六郷自転車競技場でスギッチ  
とともに国体自転車競技会の表彰式に  
出席する松田町長

## 「残してくれたもの」

美郷町長 松田 知己

心地よい達成感と虚脱感。その余韻がまだ  
残っていますが皆さんはいかがでしょう。か。  
本当に多くの方々に支えていただき、半世紀  
に一回のお祭り、国体が終了しました。各種  
組織で構成した実行委員会の皆さん。競技関  
係者の皆さん。行政区単位に設置していただ  
いた国体協力会の皆さん。競技運営や環境美  
化などのボランティアの皆さん。商工会女性  
部はじめ各団体の皆さん。応援に駆けつけて  
くれた皆さん。学校給食停止のためにご協力  
いただいた保護者の皆さん。そしてそれぞれ  
の役割を仕事として果たしていただいた皆さん。  
本当にありがとうございます。細かい  
部分での不手際は確かにありますが、大きな  
括りでは大成功と総括して間違いありません。  
心から皆さんに感謝を申し上げます。

美郷町が誕生して満三年。このタイミング  
での国体は、私たちに多くのものを残してく

れました。何より一つの目的に地域を越えて  
協力し合っていく町民の意志。それを皆さん  
で確認できました。またその意志の結集で国  
体を成功に導きました。かなりの大事業も私  
たちは達成できる力を持っていることを皆さ  
んで確認しました。そしてその過程を経て、  
確実に私たちの心が「美郷」色に染まってきた  
ほか、地域の一体化も一層深まりました。さ  
らに全国各地の一流選手に「美郷の心と味」を  
伝えることで、今後の発展に向けた「芽」を確  
実に育てました。わか杉国体が残したものは  
大きい、私はそう総括しております。

さて、そうした感慨にいつまでも浸ってい  
たい感じもありますが、時間は留まってくれ  
ません。また次の目的に向かわなければなり  
ません。そうです。今月は美郷フェスタで  
す。3回目となる今年には仙南地区で開催で  
す。これで各地区を一巡します。どうか皆さ  
んのご来場をお待ちしております。「ひさしぶ  
り」「元氣だった」「この前、おもしろがっ  
たなあ」「また、なにかやりだなあ」。きつと  
こうした会話が包まれます。そしてこうした  
前向きな姿勢こそがこれからの美郷の力で  
す。国体での熱戦は前を向く姿勢もきつと伝  
えてくれた、私はそう信じております。

## 11月のふれあい談話室

11月7日(水) 役場千畑庁舎 1階応接室  
午後5時から午後6時30分

問い合わせ

役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班

☎0187(84)4900

## 移動町長室

町長が毎週火曜日に仙南庁舎、木曜日に千畑庁舎で執務しています。  
(会議への出席などにより、実施できない場合があります)